

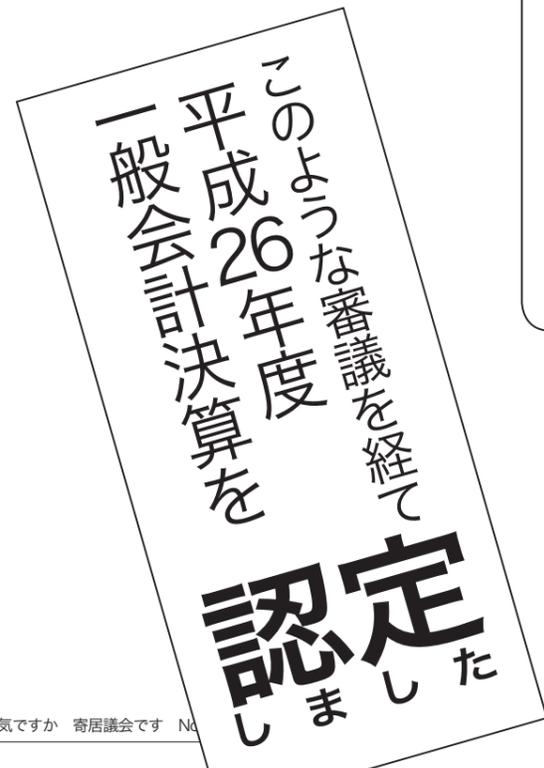
私はこう考える 一般会計決算に対する議員の意見

反対です 暮らし中心の町政の施策が求められる
田母神節子議員

町税収入が初めて50億円を超えましたが、住民1人1人の生活が向上したわけではありません。町民生活は、少子高齢化と非正規雇用の拡大により年収200万円以下の方は増加傾向。町の業務でも臨時職員が増え、保育士では正職員の倍です。保育所の給食を民間委託したり、所長は管理職になっていません。男衾駅西口の整備や寄居PAスマートIC等への多額の支出がありますが、公正・公平の立場で同和問題の逆差別をなくし(町長の決断で)、暮らし中心の施策が求められています。税金が自分たちのために使われているという実感を持っていない人がたくさんいます。

賛成です 良好な財政運営を評価。効果的な財源活用を
津久井康雄議員

歳入では、町税が初めて50億円を超え、国庫支出金も増加しており、大いに評価すべきものと考えます。歳出では、健康づくり推進事業・企業誘致が進み、男衾駅周辺地区整備等も計画的に実施されており、良好な財政運営が維持されています。しかし、今後は人口減少・少子高齢化で厳しい財政運営が予想されます。選択と集中、効果的かつ効率的に財源を活用し、最大限の成果に努めてほしい。積極的な取り組みを要望します。



若い人が元気に働ける場をつくってほしいですね。
(浅見昭雄さん)



活気あるまちづくりを希望しています。
(引間崇文さん・奈美さん)

子どもの未来に希望の持てるまちづくりを!
(宇田川実央さん・幸代さん)



用土諏訪神社の獅子舞
(町指定無形民俗文化財)

文化財の 保存と継承



津久井議員 「町指定無形民俗文化財の保存とその後継者育成のため同文化財の保存会等5団体に補助金を交付し、伝統芸能及び行事の維持と継承を図った」と成果説明書に記され、決算書に「指定文化財管理補助金5万1000円」とありますが、1団体約1万円では文化財保存と後継者育成、伝統芸能及び行事の維持継承ができないと思います。町の考えを伺います。

答…先人達が伝承してきた無形民俗文化財の保存とその後継者育成、伝統芸能及び行事の維持と継承をしていくため、今後も引き続き補助していきたく考えています。

寄居町監査委員
花輪敏男
岡本安明

い、的確に対応していく必要があります。限られた行財政資源の活用には、優先度に応じた「選択と集中」が不可欠であり、各事業について目的の再認識と評価による改善、それを担う職員の意識の転換と資質の向上に全庁で取り組まれるよう強く要望します。



6万人以上が集まる玉淀水天宮祭



商工観光企業誘致課
ホームページはこちら

遊休農地対策、 補助金の成果



中嶋議員 平成12年から遊休農地後作対策事業として、果樹苗木の導入に対して苗木代金の一部補助を行っています。26年度の実績と現在までの成果を伺います。

答…梅・みかん等8種類、合計で696本の苗木代金の80%を助成。作付面積は2.8ヘクタールでした。平成12年からの集計では、1万4944本の苗木が導入されました。点在する遊休農地への植栽のため「果樹団地」とまではなりません。今後とも苗木導入を図ります。

観光事業、 現状と課題



峯岸議員 各種観光事業に対する助成額と入り込み客数について伺います。

答…①つつじまつり 56万円・2000人。②寄居北條まつり 800万円・4万9000人。③女性みこし 50万円・5000人。④玉淀水天宮祭 800万円・6万3000人。⑤寄居秋まつり 80万円・7000人。⑥クラシックカーパレード 177万円・1万5000人。

課題は、各種事業が経済効果を上げるための受け皿づくりをすること。そのために商工会を通じて商工観光事業者の経営革新を支援していきます。

監査委員の見解(要旨)



町財政は
健全です

平成26年度決算は、計数内容とも誤りなく、特に指摘することは認められません。また、財政状況は、健全な状況といえます。

一般会計では、町税が初めて50億円を超え、歳入の46%を確保したことは、成果のひとつと評価されます。また、基本構想の重点施策を展開し、概ね所期の成果を上げることができたと認められます。

行政に求められる「最小の経費で最大の効果」のため、今後とも費用対効果の測定等不断の見直しを行